

令和元年度事業報告

令和元年度の事業は、公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会定款第4条に基づき、「フットサル等スポーツ活動の普及事業」「フットサル等競技会等の開催・助成事業」の各事業は、計画通りに実施いたしました。しかし、「フットサル等スポーツ活動の調査・研究事業」は、「スポーツ活動に係る実践研究校の指定」は計画通り実施出来ましたが、令和2年2月に開催予定していた「研究成果報告会及びフットサル研修会の開催」は新型コロナウイルス感染拡大防止の視点から中止せざるを得ませんでした。このことも含めて、令和元年度事業報告のご賛同の決議をお願いいたします。

1 定款第4条1のフットサル等スポーツ活動の普及

1-1 スポーツ用品の寄贈

本事業は、図1のフットサルボール及び簡易室内ゴール、ボッチャ用具、ティーボール用具、フロアカーリング用サポートスティック、柔軟性コーナーポスト、水泳用フロートクッションを9カテゴリーに分けて、それぞれ希望する26校に送付しました。金額は、送料も含めて558,630円でした。

	学 校 名	S E T	合計(税込)	発送完了
1	13 札幌高等養護学校	E	¥22,644	7/27済み
2	15 札幌あいの里高等支援学校	E	¥22,644	7/27済み
3	20 伊達高等養護学校	D	¥23,672	6/13済み
4	函館高等支援学校	B	¥18,238	6/15済み
5	22 北斗高等支援学校	F	¥21,780	6/13済み
6	23 今金高等養護学校	E	¥22,644	7/27済み
7	25 美深高等養護学校	E	¥22,644	7/27済み
8	28 紋別高等養護学校	E	¥22,644	7/27済み
9	30 中札内高等養護学校	F	¥21,780	6/13済み
10	31 幕別分校	E	¥22,644	7/27済み
11	32 中標津支援学校	F	¥21,780	6/13済み
12	33 市立札幌豊明高等支援学校	E	¥22,644	7/27済み
13	35 市立札幌みなみの社高等支援学校	H	¥23,240	6/13済み
14	36 日本体育大学附属高等支援学校	B	¥18,238	6/15済み
15	37 美唄養護学校	F	¥21,780	6/13済み
16	39 札幌養護学校	I	¥21,380	7/13済み
17	43 札幌伏見支援学校	E	¥22,644	7/27済み
18	48 平取養護学校	F	¥21,780	6/13済み
19	49 静内へのりの園分校	G	¥18,000	6/17済み
20	50 七飯養護学校	C	¥18,832	6/15済み
21	51 おしま学園分校	F	¥21,780	6/13済み
22	52 鷹栖養護学校	E	¥22,644	7/27済み
23	58 帯広養護学校	D	¥23,672	6/13済み
24	62 真駒内養護学校	B	¥18,238	6/15済み
25	64 拓北養護学校	E	¥22,644	7/27済み
26	69 札幌市立豊成養護学校	G	¥18,000	6/17済み

1-2 フットサル指導員の派遣

令和元年度は、9校、旅費費として188,190円、諸謝金として129,000円、源泉徴収として14,667円、計331,857円を支出した。

令和元年度のフットサル指導に際し、当初の指導員は社会福祉法人明日佳職員吉田順省氏を派遣していたが、当該吉田氏の異動に伴い、途中からエスポーラダ北海道監督小野寺隆彦氏を派遣しました。

対象校	日時	担当者	備考	派遣者	往復派遣距離 ×30円	謝金	派遣費合計	備考
北海道今金高等養護学校	7月1日 13:30~18:00	海田教諭	・2年生体育授業、23名 ・部活動での指導	吉田	556km×30円= 16680円 高速代 新川~国縫 6080円×2= 12160円	1万×1人×2日 =2万	48,840	後泊後帰礼
北海道札幌伏見支援学校	2020/7/10 13:30~18:00	斉下教諭	授業	吉田	45km×30円 =1350円	3000円×1 人 =3000 円	4350	日帰り
北海道札幌あいの里高等 支援学校	10月19日(土) 9:00~15:00	笹本教諭	授業	吉田	55km×30円 =1650円	3000円×1 人 =3000 円	4650	日帰り
北海道紋別高等養護学校	12月10日(火) 13:00~18:00	三木教諭	●体育授業の実施 ●紋高養と地域交流フットサル ●少年団のフットサル指導	小野寺隆	638km×30円= 19140円 高速代 新川~比布JCT 4820円×2= 9640円	1万×1人×2日 =2万	48,780	後泊後帰礼予定
北海道七飯養護学校おしま学園 分校	11月19日(火) 13:00~18:00	村田教諭	●体育授業の実施 ※学校が用意した授業内容で実施 pptによる講義のみ準備	小野寺隆	708km×30円= 21240円 高速代 新川~大沼公園 7590円×2= 15180円	1万×1人×2日 =2万	56,420	後泊後帰礼予定
北海道北斗高等支援学校	12月17日(火) 13:00~18:00	戸倉教諭	●全校体育授業の実施 ●部活動指導(上磯高校合同) ●部活動指導(上磯高校のみ)	小野寺隆	680km×30円= 20400円 高速代 新川~大沼公園 7590円×2= 15180円	1万×1人×2日 =2万	55,580	後泊後帰礼予定
北海道札幌高等養護学校	1月14日(火) 9:30~12:00	永井教諭	●部活動の指導	小野寺隆	43km×30円 =1290円	3000円×1人 =3000円	4290	日帰り
北海道八雲養護学校	12月18日(水) 13:00~18:00	教頭	●車椅子フットサルの実施	小野寺隆	470km×30円= 14100円 高速代5670 円×2=11340円	1万×1人×2 日 =2万	45440	後泊後帰礼予定
北海道今金高等養護学校	12月4日 13:30~18:00	海田教諭	・2年生体育授業、23名 ・部活動での指導	小野寺隆	556km×30円= 16680円 高速代 新川~国縫 6080円×2= 12160円	1万×1人×2日 =2万	48,840	後泊後帰礼

2 定款第 4 条 2 のフットサル等競技会の開催・助成

1-1 「2019 第 3 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会」の開催

令和元年度の大会参加校数は、カテゴリーⅠ(中等部・高等部併置校)4校、カテゴリーⅡ(高等部単置校)23校、27校(含む、台北市立啓聴学校)、参加生徒数190名、引率者数86名、合計276名でした。宿泊は、北海道青少年会館コンパスと札幌市駒岡保養所に分宿しました。宿泊者は、前泊者156名、後泊者69名、後後泊(台北市立啓聴学校)12名、合計237名でした。

支出総計は、3, 098, 043円でした。支出の項目は、次の一覧の支出となっています。

区 分	令和元年度支出
各学校の移動助成費	673,445円
参加者の宿泊費	1,503,164円
運営役員、審判等の謝金	365,295円
優勝カップ等の表彰費	124,836円
弁当等の食糧費	272,154円
大会パンフレットの印刷費	97,470円
大会参加・運営者の保険料	26,920円
消耗品・雑費	34,759円

○大会要項

2019 第 3 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会開催要項

- 目 的 本大会は、北海道の特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深め、かつ他校生徒に対しては敬意の念を持ってプレーし、社会性を養うとともに、意欲的に就労と社会参加への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者として成長することを期待しています。
- 会 場 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ
- 日 時 令和元年 8 月 2 日(金) 午前 9 時 00 分 ～ 午後 3 時 30 分
- 主 催 公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会
- 主 管 一般社団法人エスポラーダ北海道スポーツクラブ
- 協 力 医療法人明日佳 社会福祉法人明日佳 社会福祉法人長沼陽風会
札幌北の杜ライオンズクラブ 北海道コンサドーレ札幌コンサドルズ
- 後 援 北海道教育委員会 札幌市教育委員会 北海道特別支援学校長会
- 競技規則 FIFA フットサル競技規則に準拠
- 大会日程

① 全校参加による開会式	午前 9 時 00 分 ～
② 予選リーグ・決勝トーナメント	午前 9 時 30 分 ～
③ 全校参加による表彰・閉会式	午後 3 時 00 分 ～
- そ の 他
 - ① 単置高等部校カテゴリーと義務併置中・高等部校カテゴリーの 2 部で開催する。
単置高等部校カテゴリーは生徒 8 名、引率者 3 名、計 11 名で編成する。
義務併置中・高等部校カテゴリーは、生徒 8 名、引率者 4 名、計 12 名で編成する。
 - ② 札幌市以外の市町村に設置されている学校には、当該市町村から札幌市までターミナルまでの都市間バス利用に必要なバス代金は主催者が助成する。
 - ③ 札幌市から遠隔に設置されているため、開会式に間に合わない学校、閉会式参加後に帰宅すると遅くなる学校の生徒の前泊・後泊する宿舍は、主催者が用意する。
 - ④ 参加校は、自校生徒及び相手校生徒等への努力・敬意・勝者への称賛等を大事にする心を持つよう、(財)日本サッカー協会「リスペクトの宣言」を事前に指導する。
 - ⑥ 競技規則は、FIFA フットサル競技規則に準拠するが、学校の特性および生徒の障害の特性等に応じて、主催者が、適切に作成して、事前に周知する。
 - ⑦ 令和元年度は、1 学校 3 名の生徒によるチーム編成も認める。

○参加校名と成績

2019 第 3 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会成績表

2019第3回 小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会 参加校一覧

○高等部単置校 23校

	学校名	略名
1	台湾市立啓聴学校	台湾
2	北海道小樽高等支援学校	小樽
3	北海道新得高等支援学校	新得
4	北海道紋別高等養護学校	紋別
5	北海道小平高等養護学校	小平
6	北海道新篠津高等養護学校	新篠津
7	市立札幌豊明高等支援学校	豊明
8	北海道札幌高等養護学校	札高養
9	北海道中札内高等養護学校幕別分校	幕別
10	北海道函館五稜郭支援学校	五稜郭
11	北海道高等聾学校	高等聾
12	市立みなみの杜高等支援学校	みなみの杜
13	北海道中標津高等養護学校	中標津
14	北海道鶴野支援学校	鶴野
15	北海道札幌稲穂高等支援学校	稲穂
16	北海道白樺高等養護学校	白樺
17	北海道今金高等養護学校	今金
18	北海道北斗高等支援学校	北斗
19	北海道美深高等養護学校	美深
20	北海道中札内高等養護学校	中札内
21	北海道札幌あいの里高等支援学校	あいの里
22	北海道千歳高等支援学校	千歳
23	北海道函館高等支援学校	函館

○中高等部併置校 4校

	学校名	略名
1	北海道札幌伏見支援学校	伏見
2	北海道平取養護学校静内ベテカリの園分校	平取
3	北海道帯広養護学校	帯広
4	北海道南幌養護学校	南幌

○成績

カテゴリー1				カテゴリー2			
優勝		北海道帯広養護学校		優勝		北海道新篠津高等養護学校	
準優勝		北海道平取養護学校ベテカリの園分校		準優勝		北海道今金高等養護学校	
第3位		北海道南幌養護学校		第3位		北海道札幌あいの里高等支援学校	

3 定款第4条3のフットサル等スポーツ活動の調査・研究

3-1 スポーツ活動に係る実践研究校の指定

令和元年度は、次表の6校の研究テーマに基づく実践研究に対して、1校10万円の研究助成を行い、実践成果報告書を400部印刷しました。研究助成費と印刷費の総計は、699,999円でした。

学 校 名	研 究 テ ー マ
北海道札幌高等養護学校	肢体不自由用ボッチャ支援器具の開発
北海道紋別高等養護学校	特別支援学校における男子新体操の指導～体験したことのない動きへの挑戦とボディイメージの向上～
北海道札幌あいの里高等支援学校	サッカー部の活動を通じた人間形成～自主性、協調性を育てる部活動～
北海道中札内高等養護学校 幕別分校	スポーツをととした地域参加を目指して ～部活動から生涯スポーツへ～
北海道八雲養護学校	神経筋疾患の児童生徒における主体的な授業の取組～eスポーツの実践を通して～
北海道拓北養護学校	遠隔システムを活用した北海道肢体不自由養護学校体育大会の試み

○スポーツ研究成果報告書の表紙と理事長の巻頭言

公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会 特別支援学校 スポーツ研究成果報告書 2019 (No.3)  スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである。 ～「スポーツ基本法」より～	巻 頭 言 令和2年、2月には2020年第7回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・北海道が札幌・江別・岩見沢を会場にして開催されました。全国の知的障がいのある選手がスキー・スケート等で日ごろの技を競い合いました。 また、8月末からは、東京パラリンピック2020が開催され、世界のパラスポーツ選手が東京に集まって、日々の精進の結果を発揮することでしょう。 私は、障がいの有無にかかわらずスポーツは、人の体を元気にし、体が元になれば心も元気になる、心の元気が日々の生活を明るく過ごす力になると信じております。 「スポーツ基本法」は、「スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである。」と述べています。 このことから、公益財団法人小野寺眞悟スポーツ振興会は「特別支援学校のスポーツ振興に関する事業を行い、障害のある児童生徒の健全な発達に寄与することを目的とする。」ために、特別支援学校にスポーツ用具を寄贈し、フットサル大会を開催し、各学校にフットサル指導員を派遣するとともに、各学校の皆さんが実践研究しているスポーツ活動等の費用の助成などをしております。 また研究紀要には、これからの障がい児のスポーツ活動を考える方向性や、特別支援学校でのeスポーツの取組、新たなスポーツ分野としての新体操の指導の工夫と共に少人数化等を踏まえた遠隔システムによる体育大会の開催、障がいに応じた教材教具の工夫など、多岐にわたる実践研究を掲載することが出来ました。 今後も、本法人は、各学校、各教師等が工夫・実践したスポーツ活動の指導内容・方法やその成果等を、広く特別支援学校に周知する機能を果たして、スポーツ活動の「知識と技能の共有化」を目指してまいります。ここに関係する皆様方からの忌憚のないご意見ご指導などお願いする次第です。 令和2年3月 公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会 理事長 小野寺 眞 悟 
---	--

3-2 研究成果報告会及びフットサル研修会の開催

令和2年2月24日開催予定の当該報告会及び研修会は、新型コロナウイルス感染防止の視点で中止いたしました。

4 管理費

管理費総計は、1,046,740円。

なお、内訳は、次表のとおりである。

区 分	令和元年度支出
役員報酬	11,137
給与手当	600,000
旅費交通費	125,300
委託費	86,400
租税公課	0
食糧費	0
支払手数料	122,100
通信費	62,553
消耗品費	39,250